

あなたならどんな香りの家で過ごしますか？

能登ヒバとヒノキの香り。



建て方翌日の風景。
屋根下地に使ったヒノキの香りが道路まで漂っていました。

「香りで柔軟剤を選ぶ」というお話はよく聞きますよね。でも、香り（匂い）で、家を選ぶ人はどのくらいいらっしゃるでしょうか？

当社の家は、残念ながら無臭ではありません。いえ、厳密に言えば新築の家で「無臭の家」は存在しないといってもいいでしょう。たとえば内装に珪藻土を塗っている家であっても、床からは下地材の合板の接着材のニオイやフローリングの塗料のニオイ、住宅に使われている様々な樹脂製品のニオイがするからです。

どんな香りの家で、生涯を過ごしますか？

今から20年ほど前までは「新築のニオイがする」ことがお客様に喜ばれていましたが、実は「新築のニオイ」とは合板や新建材に含まれるホルムアルデヒドなど揮発性有機化合物のニオイでした。現在ではホルムアルデヒドは厳しく規制されましたが、塗料や接着剤に使われるトルエンやキシレンは全く規制されていないので、やっぱり新築のニオイがする家も少なくないようです。

「有機化合物のニオイ」の家と「天然木の香り」の家、生涯を過ごす家としてどちらを選ぶのか？によって、健康や住み心地の違いはあまりに大きいものになります。

契約前に構造材の仕様で迷ったお客様が「香りを比べたいから」と、能登ヒバの家とヒノキの家で実際に「木の香り」を嗅ぎ比べてみました。その結果、「私はやっぱり能登ヒバの香りが好き！」と実感できたそうです。能登ヒバの心地よい香りを現地で体感してみてください。

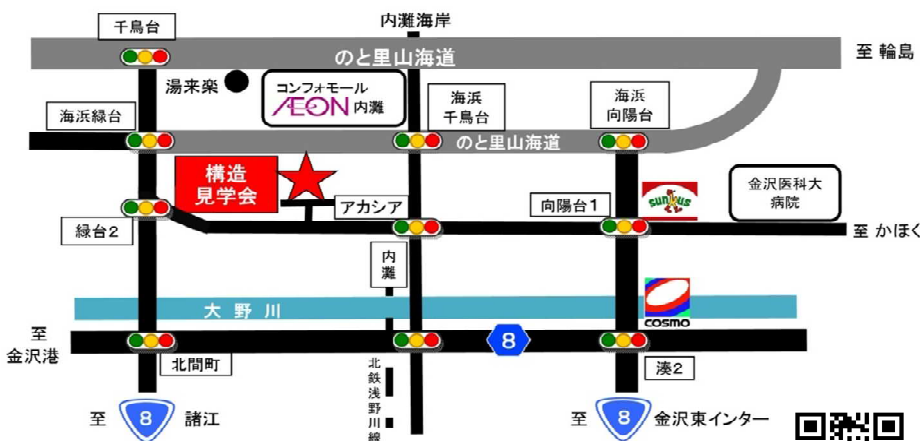
沢野建設工房

構造見学会

3/11(土)・12(日)

午前10時～午後5時

内灘町 緑台1丁目



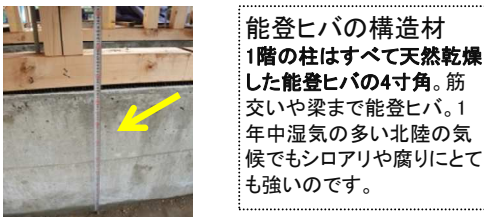
カーナビ用マップコード 41 766 512*30



能登ヒバの床組
「ヒバ普請の家には蚊が寄りつかない」といわれるほどの防虫効果を発揮してくれます。薬剤なしでウッドデッキに使われるほど湿気に強く、白アリも寄せ付けません。



ヒノキの軒先
当社ではどの家でも可能な限り、軒先を伸ばして外壁を雨雪から守るようにしています。歴史が実証済。しかも使う素材は湿気に強い東濃産のヒノキです。外部でも天然木の香りがずっと続きます。



能登ヒバの構造材
1階の柱はすべて天然乾燥した能登ヒバの4寸角。筋交いや梁まで能登ヒバ。1年中湿気の多い北陸の気候でもシロアリや腐りにとても強いのです。

高基礎仕様
内灘海岸も歩いて行けるほど海が近く、元々湿気が少なかった地域ですが、能登ヒバの抗菌作用や防虫作用をさらに効果的にするために通常よりも基礎を高くしました。



【能登ヒバの効能】

- 強力な抗菌・殺菌効果
- 天然の消臭効果
- ダニ・シロアリ防虫作用
- 炎症を鎮める消炎作用
- リラックス効果

ゼロエネルギーで、暮らそう。



つ木幸
くでせ
る。は、



株式会社 沢野建設工房

〒929-1122 石川県かほく市七穂ホ5-1
TEL.076-283-3360 FAX.076-283-8266

沢野 検索